

「かめの泉」についての説明

(交流広場～あなたと私の待合所)

2020年6月23日

文責:土井 承夫(会員)

(福庭自治公民館長)

(1) 主催者(発起人): 梓島和江(鳥取県母子寡婦福祉連合会理事長)

(2) 会の趣旨と目的

高齢者孤立防止の為の居場所づくりを目的に音読、コーラス、手芸、子ども達との書きぞめ大会等を開催。

(3) 活動状況

高齢者に生きがいを感じてもらえる場所を提供するため、市街地の住居の一角をそのサロンとして開設した。そこで月に一度の音読会とコーラスの会を開催している。通称「ウィーンの森の音読・コーラスの会」と会員間では呼んでいるが、日頃の練習成果を以て、生涯のうちに必ず現在のメンバーでオーストリアのウィーンを訪問しこの会を開催するのを最終目標としている。80~90歳代の高齢者の会員も多いが、老いも若きもお互いを思いやり「第二の青春」を満喫している。今年は新型コロナウイルス感染の猛威の中、「手作りのマスク」を製作し経費の回収程度で販売しているが人気は上々で、マスクの素材は「おしめ」等、会員の奇抜な工夫や発想から出てきたものが多く日頃の手芸活動の成果が生かされている。また、年頭には地域の子ども達を招いて「書初め大会」も催しているが、人生の先輩たちの経験豊富な話は子供たちの目を輝かせている。毎回の参加費はひとり100円と慎ましい額だが誰もが気軽に参加でき最小のコストで最大の楽しみや生きがいを得るべくお互いに知恵を出し合っている。

(次葉は最近の活動状況の写真集です)



<「ウィーン」の森の音読・コーラスの会（毎月第二火曜日）の様子>

「花は咲く」の大合唱で始まる



<三朝（みささ）の長老～天下のご意見番>



<「ウィーン」には似あわない突然の「どじょう掬い」>

<倉吉市街地にある「かめの泉」サロン～交流ひろば「あなたと私の待合所」>



<手作りマスク>



<一杯 100 円のコーヒーはセルフで>



<手作りクッキー>



大人気の「手作り手さげ袋」～古新聞や雑誌から作るが、特に写真の「ニューヨーク・タイムズ」はひっぱりだこの大人気～

